

農 研 速 報

平成22年6月28日発行

県農業総合センター農業研究所水田利用研究室

〒301-0816茨城県龍ヶ崎市大徳町3974 TEL0297-62-0206 FAX0297-64-0667



水稻の生育状況（6月28日現在、龍ヶ崎市）

地域名	移植時期	生育ステージ	対平年遅速	生育概況及び今後の栽培管理	備考
茨城県 (龍ヶ崎市)	4月28日	最高分げつ期 ～幼穂形成期	あきたこまち 1日早い コシヒカリ 4日早い	<p>◇移植後の気温はほぼ平年並～やや高く推移している。また、移植後の積算日照時間は平年比145%と長い。</p> <p>両品種ともに草丈は平年よりやや長く、茎数はともに2割程度少ないが、有効茎は確保されている。葉色は両品種ともに平年並～わずかに濃い。幼穂長からみたあきたこまちの出穂期予測は7月17日であり、平年より1日早い。また主稈葉数は平年より0.3枚多い。コシヒカリの幼穂はまだ確認できないが、主稈葉数からみた生育は平年より4日早いと考えられる。日長を加味した水稻発育予測モデル(H8年)による出穂期は、両品種ともに平年より1日早い予測である。</p> <p>◆今後の栽培管理</p> <p>1) 各品種とも3～4日間隔で入水と自然落水を繰り返す間断灌漑を行う。ただし、あきたこまちでは穂ばらみ期(穎花分化期～減数分裂期、出穂前25～12日)に低温が予想される場合、障害不稔の発生を軽減するため、水深10cm以上の深水管理を行う。</p> <p>2) 穂肥については(1)あきたこまちでは幼穂長1mm～5mm(出穂前20日～25日)の時の葉色が4程度(カースケール)であれば、穂肥は幼穂長が約5mm～1cm(出穂前約18日)の時期に窒素を10a当たり2kg程度施用する。(2)コシヒカリでは幼穂長2mm～10mm(出穂前20日～25日)の時の葉色が3.5程度(カースケール)であれば、幼穂長1cm～2cmの時期(出穂前15日～18日)に10a当たり窒素2kg程度を施用する。</p> <p>3) いもち・紋枯病の発生する圃場では、玄米千粒重の低下と乳白米の発生が懸念されるため、早期に防除を行う。</p>	
	5月 7日	最高分げつ期 ～幼穂形成期	あきたこまち 並 コシヒカリ 5日早い	<p>◇移植後の気温はほぼ平年並～やや高く推移している。また、移植後の積算日照時間は平年比157%と長い。</p> <p>草丈は平年に比べてあきたこまちで並であり、コシヒカリではよりやや長い。茎数は両品種ともにやや少ないが、有効茎は確保されている。葉色は両品種ともに平年並～わずかに濃い。幼穂長からみたあきたこまちの出穂期予測は7月23日であり、平年と同日である。また主稈葉数は平年より0.4枚多い。コシヒカリの幼穂はまだ確認できないが、主稈葉数からみた生育は平年より5日早いと考えられる。日長を加味した水稻発育予測モデル(H8年)による出穂期は、両品種ともに平年より1日早い予測である。</p> <p>◆今後の栽培管理</p> <p>1) 幼穂形成期まで中干しを終了し、間断灌漑に移行する。中干しの終了時期の目安は、あきたこまちが6月第5半旬、コシヒカリが6月第6半旬である。</p> <p>2) 葉いもち・紋枯病の発生する圃場では早期に防除を行う。</p>	

品 種	草 丈			茎 数			葉色 (カラススケール)			葉色 (SPAD)			主 稈 葉 数		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/㎡)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
あきたこまち	65.9	107 (61.6)	109 (60.4)	597	78 (764)	82 (725)	4.2	+0.1 (4.1)	+0.2 (4.0)	36.3	+0.4 (35.9)	+0.5 (35.8)	10.7	+0.1 (10.6)	+0.3 (10.4)
コシヒカリ	69.3	114 (60.8)	118 (58.9)	638	74 (860)	77 (824)	4.1	+0.3 (3.8)	+0.4 (3.7)	34.1	-0.5 (34.6)	+1.4 (32.7)	10.8	+0.2 (10.6)	+0.5 (10.3)

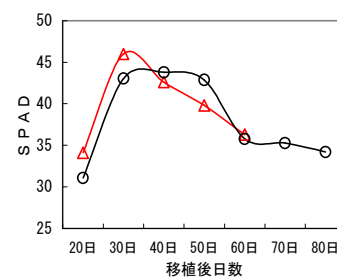
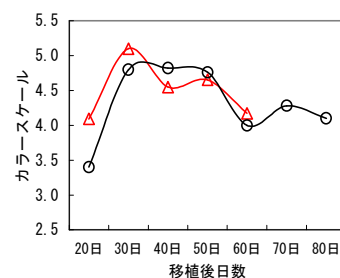
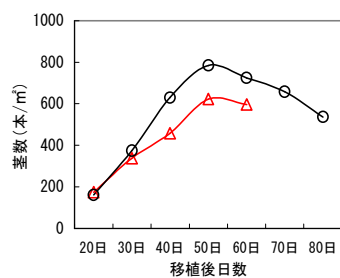
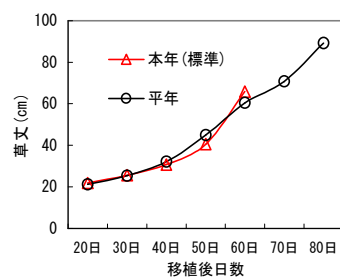
品 種	草 丈			茎 数			葉色 (カラスケール)			葉色 (SPAD)			主 稈 葉 数		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/㎡)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
あきたこまち	56.3	96 (58.8)	100 (56.1)	677	84 (808)	89 (763)	4.6	+0.3 (4.3)	+0.3 (4.3)	39.8	+3.4 (36.4)	+1.0 (38.8)	10.1	+0.2 (9.9)	+0.4 (9.7)
コシヒカリ	60.7	105 (57.7)	109 (55.5)	701	84 (833)	86 (812)	4.2	+0.2 (4.0)	+0.1 (4.1)	36.8	+2.9 (33.9)	+0.4 (36.4)	10.0	+0.2 (9.8)	+0.4 (9.6)

1. 苗質：稚苗
2. 植え付け本数：5本/株
3. 栽植密度：22.2株/m²
4. 基肥窒素量 あきたこまち N：P205：K20 = 0.7：0.7：0.7(kg/a)
 コシヒカリ N：P205：K20 = 0.6：0.6：0.6(kg/a)
5. 平年値：平成17～21年の5年間の平均値

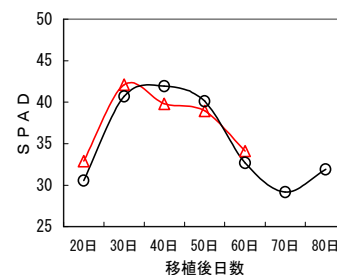
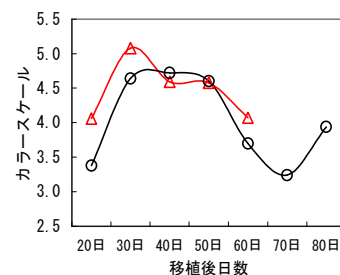
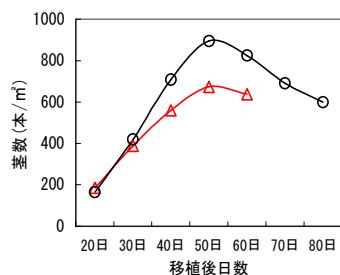
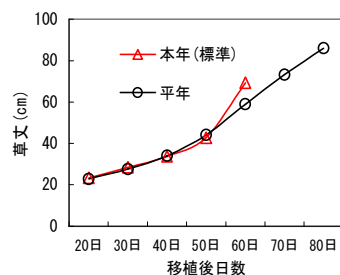
移植時期	品種・栽培法	調査日	主稈幼穂長		出穂期予測			
			本年 (mm)	平年 (mm)	本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)	
4/28移植	あきたこまち	標準	6/28	5.8	3.7	7/17	7/18	-1
5/7移植	あきたこまち	標準	6/28	0.7	1.0	7/23	7/23	±0

注) 予測は平成16、18年度の成果「有効積算温度と幼穂長による水稻の出穂期予測」に基づいて行った。

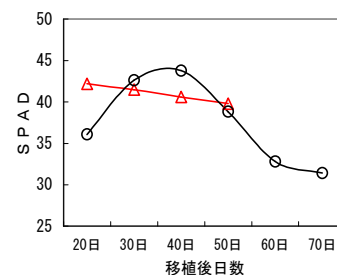
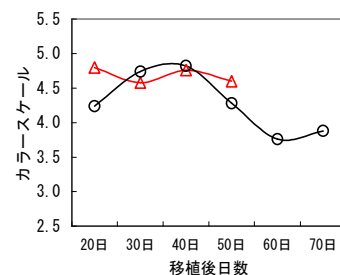
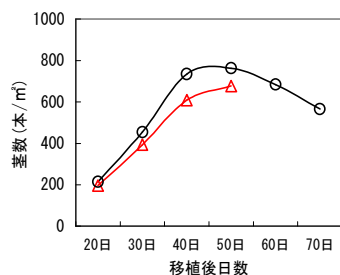
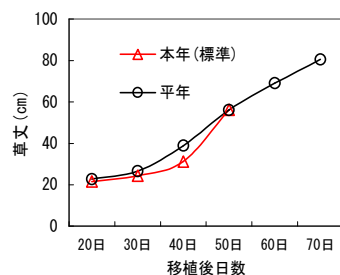
あきたこまち
4月28日移植



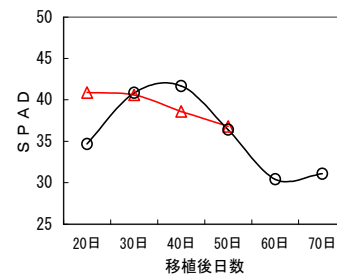
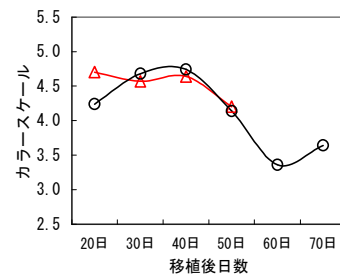
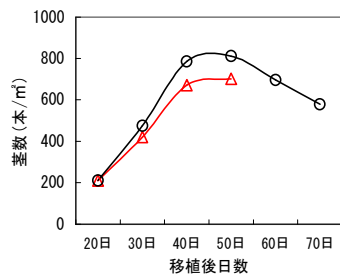
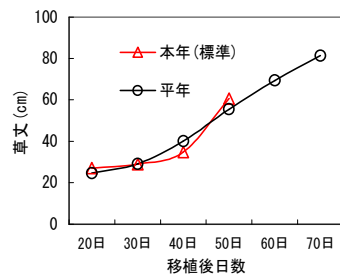
コシヒカリ
4月28日移植



あきたこまち
5月7日移植



コシヒカリ
5月7日移植



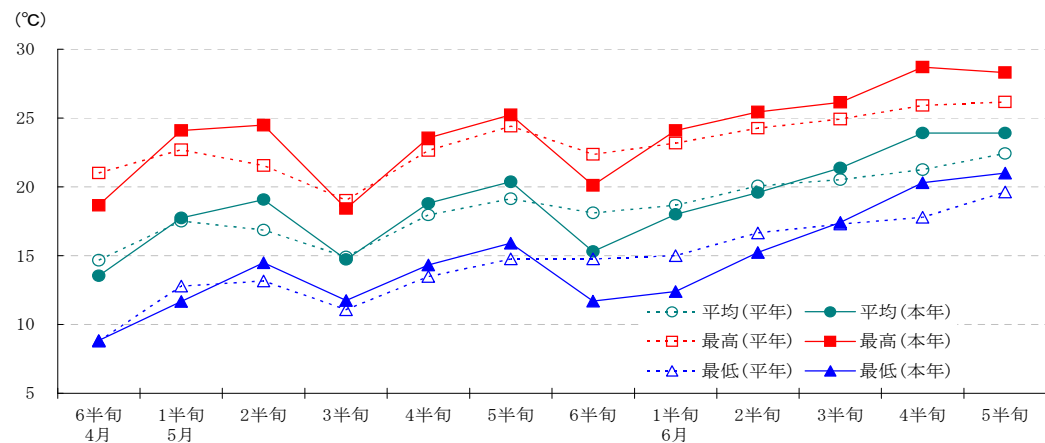


図1 半旬別気温の推移（龍ヶ崎）

注) 平年値はH17-21年の5年間の平均値

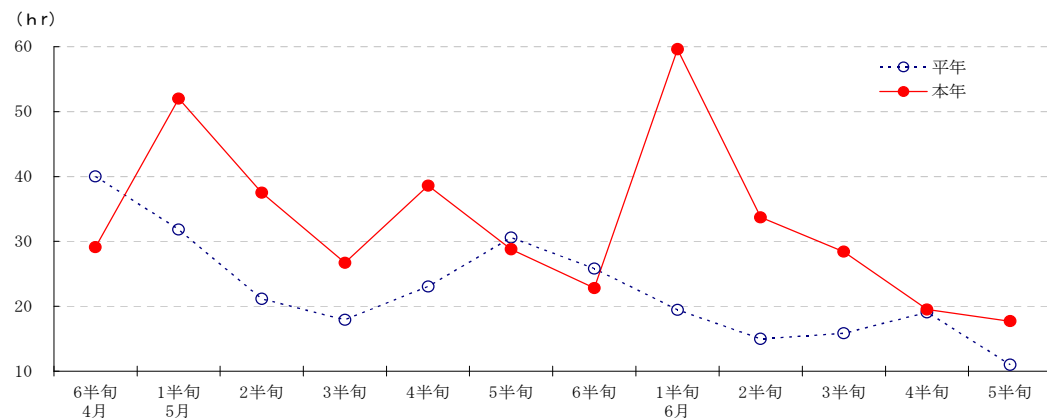


図2 半旬別日照時間の推移（龍ヶ崎市）

注) 平年値: H17-21の5年間平均

表4 移植時期別気象条件（龍ヶ崎市）

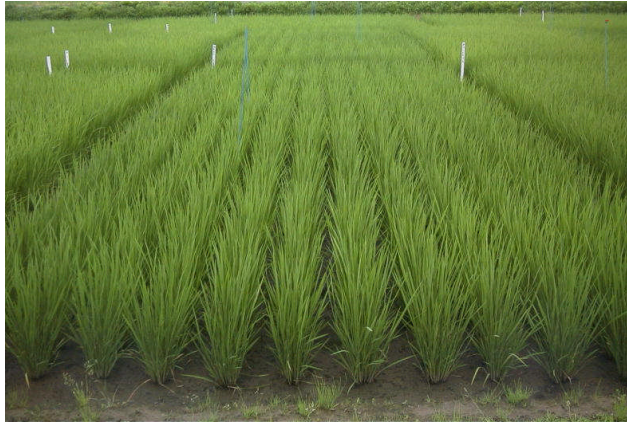
移植時期	期間	平均気温(°C)			積算平均気温(°C)			積算日照時間(hr)		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比(%)
4月28日移植	4月第6半旬～6月第5半旬	18.8	18.5	+0.3	1147.0	1128.0	+19.0	394	271	145
5月7日移植	5月第2半旬～6月第5半旬	19.4	19.0	+0.4	990.0	967.0	+23.0	313	199	157

注) 平年値：平成17～21年の5年間の平均値

【 4月28日移植の生育状況 】 撮影日：6/28

あきたこまち

コシヒカリ



【 5月 7日移植の生育状況 】 撮影日：6/25

あきたこまち

コシヒカリ

